



9月度の御書

たかはしどのごへんじ 「高橋殿御返事」 (米穀御書)

御文

その国の仏法は貴辺にまかせたてまつり候ぞ。

(御書新版1953ページ、御書全集1467ページ)

意味

その国で仏法は、あなたにお任せいたします。

弟子を信らいる師匠の深い心

やあ！ ボクはライオン博士のキング君だよ。みんなは最近、何か「びっくり」したことはあるかな？ 今回学ぶのは、お手紙をいただいた門下が、きっと「びっくり」したような御文だよ。さっそく学んでいこう！

日蓮大聖人の一番の願いは、仏法を世界中の人々に伝えて、「一人ももれなく幸せな人生を歩んでほしい」ということだよ。

そのために、来る日も来る日も大聖人は、人々に仏法を語り、はげましを送られたよ。苦難もあったけど、強き「獅子王の心」で、ぜんぶ勝ちこえていかれたんだ。

御文をいただいた門下は“自分も師匠の戦いに続こう！”と、勇気の心で行動してきたよ。すると大聖人はこう言われたんだ。

“その国の仏法は、あなたにお任せします”――。

これはね、すごいんだよ。弟子を信らいていなければ言えない言葉なんだ。門下は、弟子を信じる大聖人の心が、どんなに深く大きいのかを知って、びっくりしただろうし、感動したにちがいないよ。

らい大きな心で祈られているんだ。師匠の祈りに心を合わせた時、弟子は自分の殻をやぶり、勇気とちえをグングンわき出していけるんだよ。これが、どんななやみにも絶対に負けない「師弟の力」なんだ！

一人一人が、自分の決めた道で、この力を発揮してきたのが創価の同志だよ。池田先生がすべての人にはげましをおくってきたように、だれが見ていなくとも、身の回りの人を真心ではげまし、世界を変えてきたのが学会員なんだ。

そして先生の夢を受けつぎ、これからあらゆるぶ台におどり出ていく主役は、みんなだよ！

池田先生は語られているよ。

「私は、みなさんのお父さんやお母さんたちといっしょに、日本中、世界中で“はげましの金字塔”をつくってきました。

『そんなことをしても世の中は変わらない』と悪口を言う人もいました。しかし今、私と心をついに、世界の平和と人々の幸福のためにがんばってくれるメンバーは、192カ国・地域に広がっています。みなさんが将来、もっと立派な、いろんな金字塔をつくってくれることを私は信じ、祈っています」

たくさんの夢を広げながら、自分らしく、未来へ進んでいこう！

師匠は弟子を、この大きな心で信じるとともに、同じく